

朝の館内放送

令和6年11月5日

おはようございます、市長の中村健です。

先日開催された西尾市民病院フェスタの中で、映画「ディア・ファミリー」のモデルとなった、東海メディカルプロダクツの筒井宣政（のぶまさ）会長をお招きしてのトークショーが行われました。

映画「ディア・ファミリー」は、大泉洋さんや菅野美穂さんが出演され、幡豆中学校でも撮影が行われた作品ですが、公式ウェブサイト上で紹介されているストーリーは次の通りです。

生まれつき心臓疾患を持っていた幼い娘・佳美は「余命10年」を突き付けられてしまう。

「20歳になるまで生きられないだと…」

日本中どこの医療機関に行っても変わる事のない現実。

そんな絶望の最中、小さな町工場を経営する父・宣政は「じゃあ、俺が作ってやる」と立ち上がる。

医療の知識も経験も何もない宣政の破天荒で切実な思いつき。

娘の心臓に残された時間はたった10年。

何もしなければ、死を待つだけの10年。

坪井家は佳美の未来を変えるために立ち上がる。

絶対にあきらめない家族の途方もなく大きな挑戦が始まる。

限りなくノンフィクションに近いフィクションであるこの作品のモデルとなった筒井会長は、会社を継いだ時の多額の借金を返済し、娘の病気を治すために開発に取り組んだ人工心臓は金銭的な理由で断念したものの、国内初となるIABPバルーンカテーテルを開発し、これまで17万人以上の人々の命を救うなど、非常に厳しい数々の困難を不屈の闘志で乗り越えてこられました。

トークショーの場で、その理由や信念についてお聞きしたところ、非常に興味深いお答えをいただきました。

限りない好奇心と

限りない情熱を持って

限りない努力をすれば

限りないネットワークができ

実現できないことはない

みなさんは、この言葉を聞いてどう感じましたか。

きれいごとに聞こえたかもしれません。

人は、困難にぶち当たった時、目の前のその困難から逃げることは簡単ですが、常人では考えられないような困難に立ち向かって乗り越えた人の口から出た言葉には、非常に説得力があり、私は率直に言って感動しました。

限りない好奇心と
限りない情熱を持って
限りない努力をする

生き方として見習いたいものです。

以上で、朝の館内放送を終わります。